校正時に修正が少なくなるので，投稿にはこのテンプレートをご利用ください．なお，青字は投稿に関する規定や記載例などで，投稿時には消してください．

カテゴリー：（原著論文，短報，総説，ミニレビュー，技術ノート，教育など）

表題：「根の研究」への投稿原稿テンプレート

Title: Template for authors submitting manuscripts to “Plant Root” （先頭文字のみ大文字）

著者名・所属：

根研太郎\*1)・根系一郎2)・根粒弘2,3)

1）○○大学大学院◇◇研究科

2）○○大学△△学部

3）○○研究センター

（連絡責任者には＊を付けること）

連絡責任者の連絡先

住所　〒･･･

Tel：

FAX：

E-mail:

Author’s information:

Taro NEKEN\*1), Ichiro KONKEI2), Hiroshi KONRYU2,3)

1)◇◇ Sciences, University of ○○, 2)Faculty of △△, ○○ University, 3)○○ Research Center

（連絡責任者には\*を付けること）

要旨：本研究では，-----．

600字以内（原著論文・総説・ミニレビュー・技術ノートは必須）

Abstract: In this study, -----.

英語250単語以内（原則として著者の責任で英文添削を受けたもの）

キーワード：乾燥ストレス，根系，根粒，ダイズ，有機態窒素．

5つまでとし，和文は五十音順．最後に「．」を付ける．

Keywords: Drought stress, Organic nitrogen, Root nodule, Root system, Soybean.

アルファベット順（先頭文字は大文字．最後に「.」を付ける）

原稿中の句読点は「，」，「．」を用いてください．「()」は半角とし，その外側がそれらや句読点のとき以外は半角のスペースを入れて下さい．℃と％は全角を用いてください．英数字には半角文字を用い，数値と単位の間には半角スペースを入れてください．ただし，℃と％については例外として，数値と単位の間に半角スペースは入れないでください．

算術記号について，+，−，±，<など等式内（例：n\_=\_7，*P*\_<\_0.05）では数値などとの間にはスペースを入れてください．アンダーバーは半角スペースを示していますが，原稿では不要です．ただし，/や値を示す際（例：5＜，－3）については数値などとの間に半角スペースは入れないでください．

項目別番号は，1．, 2．, ・・・; (1), (2), ・・・; 1), 2), ・・・; i), ii), ・・・の順です．また，図表の表記は第○図，第○表です．

緒言

材料と方法

結果（もしくは結果と考察）

考察

謝辞（必要に応じて）

引用文献（引用がある場合のみ）

引用文献のみ（本文中の引用箇所も含む）句読点は半角の「,」，「.」を用いてください．スペースも半角になります．

本文中の引用箇所には(Tanaka\_and\_Yamada,\_1986;\_Tanaka\_et\_al.,\_1986;\_山田ら,\_1990)といった表記で文献を指示し，本文の後に「引用文献」として以下のスタイルを参照して，筆頭著者名のアルファベット順に並べて下さい．アンダーバーは半角スペースを示していますが，原稿では不要です．

＜雑誌＞

雑誌名は省略形にしてください．DOI情報や号数は不要です．また，ページ間は半角ハイフン「-」です．アンダーバーは半角スペースを示していますが，原稿では不要です．

森田茂紀,\_萩沢芳和,\_阿部淳\_1997.\_ファイトマーの数と大きさに着目したイネの根系形成の解析─ポット試験による根量の品種間差の解析例─.\_日作紀\_66:\_195-201.

Becard,\_G.,\_Douds,\_D.D.,\_Pfeffer,\_P.E.\_1992.\_Extensive\_in\_vitro\_hyphal\_growth\_of\_vesicular-arbuscular\_mycorrhizal\_fungi\_in\_the\_presence\_of\_CO2\_and\_flavonols.\_Appl.\_Environ.\_Microbiol.\_58:\_821-825.

＜単行本＞

可知直毅\_1996.\_草本植物における最適な地上部/地下部比.\_山内章編\_植物根系の理想型.\_博友社.\_pp.\_129-148.　（出版社の所在地は不要です．）

山内章\_1996.\_植物根系の理想型.\_博友社.　（出版社の所在地は不要です．書籍の全引用の場合，ページ数は不要です．）

Nobel,\_P.S.\_1994.\_Root-soil\_responses\_to\_water\_pulses\_in\_dry\_environments.\_In\_Caldwell,\_M.M.,\_Pearcy,\_R.W.\_eds.,\_Exploitation\_of\_Environmental\_Heterogeneity\_by\_Plants.\_Academic\_Press.\_pp.\_285-304. （章を引用の場合，洋書籍タイトルのすべての先頭文字は大文字です．出版社の所在地は不要です．）

Caldwell,\_M.M.,\_Pearcy,\_R.W.\_1994.\_Exploitation\_of\_environmental\_heterogeneity\_by\_plants.\_Academic\_Press. （書籍の全引用の場合，洋書籍タイトルの最初の１文字だけ大文字を用い，他はすべて小文字で，ページ数は不要です．）

図表の貼り付けについて

パワーポイントやエクセルなどでテキストボックスなどによる文字を組み入れた写真やグラフなどは，以下の方法でこのテンプレートに直接貼り付けて下さい．

グラフ，写真，文字をグループ化してコピーした後，ツールバーのホーム＞貼り付け＞形式を選択して貼り付け＞図（拡張メタファイル）を指定してください．

表についても同様です．

グラフと表について

多重検定ではt検定を使用しないでください．

ダンカンの多重範囲検定は過誤の確率が高くなりやすいので使用しないでください．

フィッシャーのLSD法は多重性が考慮されていないため，4群以上では使用しないでください．

反復数を明記してください（n ＝ 5など）．

標準偏差か標準誤差かを明記してください．